

平成23年度横浜市高等学校奨学生募集要項

横浜市教育委員会

1 応募資格

次の(1)から(4)までの全てに該当する者

- (1) 保護者の住所が横浜市にある方（学校は市外・県外でも構いません。）
- (2) 高等学校に在学し、品行方正な方
 - ※ 高等学校には、特別支援学校の高等部、中等教育学校の後期課程を含みます。
 - ※ 高等専門学校、高等専修学校、各種学校等は対象になりません。
- (3) 学業成績が前年度の全履修科目の評定平均値が5段階評価で4.00以上の方
 - ・ 1年生の場合は、中学校第3学年の全履修科目
 - ・ 2年生の場合は、高校第1学年の全履修科目
 - ・ 3年生以上の場合は、前年と前々年の2カ年の全履修科目
- (4) 家計の収入状況が年間800万円以下程度（目安）で学資の支払いが困難な方
 - ※ 他の奨学金との併給はできません。（ただし、併願は可能です。）
 - ※ 応募資格を満たしていない方からの申請は受け付けられません。

2 奨学金（支給額）

月額 5,000円 （年額 60,000円） ※ 返還の必要はありません。

3 支給期間

正規の修業期間

※ 次年度の継続については、在学する高校に奨学生の成績などの修業状況の確認を行った上で決定します。修業状況によっては継続できない場合もあります。

4 募集人数

480人程度

※ 継続者の状況によって、新規支給者数に変更になる場合があります。

5 申請の方法・提出期限

申請書類一式を、平成23年4月28日（木）までに在学する高校を通じて、提出してください。

○注意事項○

- ・ 申請者が直接教育委員会に提出することはできません。
- ・ 在学している高等学校で、提出期限がある場合は、その期限に従ってください。
- ・ 一部の書類が期限に間に合わない場合は、学校を通じて御連絡ください。

6 提出及びお問い合わせ先

〒231-0017 横浜市中区港町1-1
横浜市教育委員会事務局 高校教育課
電話 045(671)3272 FAX 045(640)1866

7 申請書類

次の（１）から（４）の書類を提出してください。

- （１）奨学生願書 〈様式①〉
- （２）奨学生推薦調書 〈様式②〉（高校で作成）
- （３）奨学生推薦証明書 〈様式③〉（新入生のみ。出身中学校で作成）
- （４）家計の収入状況を示す、すべての書類

＜家計の収入状況を示す書類＞

以下を参照の上、所得等の種類に応じて、該当するものをすべて提出してください。

※ 家計の収入状況を示す書類は、返却できませんのでコピーで構いません。

※ パートやアルバイト収入も書類の提出が必要です。

所得等の種類	証明書類
給与所得	「平成22年分の源泉徴収票」又は「給与証明書」 ※ ない場合は「給与支払明細書」の最近3ヶ月分 ※ 平成23年に入ってから、転職などにより収入状況が変わっている場合には、新しい就職先での収入額がわかるものを提出してください。
事業所得	「平成22年分の確定申告書（控）」（税務署受付印のあるもの）
年金	「源泉徴収票」「金額改定通知書」「年金振込通知書」のうち、いずれか
児童扶養手当	「児童扶養手当証書」
雇用保険（失業等給付）	「雇用保険受給資格者証」
生活保護	「保護証明書」（居住区の福祉保健センター長の証明） ※ 生活保護を受けている方は、他の収入証明を添付する必要はありません。 * 生活保護受給者で奨学生になった方は、保護費が減額となります。
児童養護施設入居者	施設長の入居証明
その他	私的扶助や利子・家賃収入などは収入額の証明できる書類

8 選考方法と結果

- （１）提出された書類に基づいて選考し、募集人数の範囲内で決定します。
- （２）書類に不備がある場合は、選考の対象となりません。
- （３）選考結果は、6月の下旬頃に在学する高校あてに通知します。

9 支給方法

奨学金は、決定から約1カ月後（7月下旬頃）に高等学校の口座に振込みますので、高等学校から奨学金の支給を受けてください。

10 奨学生の取り消し

偽りその他不正な手段で奨学金支給の決定を受けた場合は、奨学金の支給を取り消すことがあります。

11 届け出等

学校は、奨学生の氏名・住所変更、休学退学等、申請の内容に変更がある場合には、教育委員会へ届け出をしてください。

12 その他

申請書類は下記のホームページからダウンロード可能です。

<http://www.city.yokohama.jp/me/kyoiku/soudan/soudan2000.html>

参考

（財）岩崎与四郎育英会からの依頼により、奨学生を本市教育委員会が併せて選考し、推薦します。

【募集人数】（財）岩崎与四郎育英会の奨学生（10人程度）

資格、支給内容は横浜市の奨学金制度と同じです。上記奨学生の推薦候補者となった場合は、横浜市奨学生の選考結果と併せて高校に通知します。

(横浜市高等学校奨学生の出願手続きについて：高校用)

1 横浜市奨学生出願手続きの流れ

- (1) 本人から書類の提出
「願書」「推薦証明書(1年生のみ。出身中学校作成)」「家計の収入状況を示すすべての書類」
- (2) 応募資格を提出書類により確認後、書類がすべて揃っているか確認してください。

応募資格 ①保護者の住所が横浜市にある方
②高等学校に在籍し、品行方正な方
③学業成績が前年度の全履修科目の評定平均値が5段階評価で4.00以上の方
※ 小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位までの平均値とします。
④家計の収入状況が年間800万円以下程度(目安)で学資の支払いが困難な方

- (3) 「推薦調書」を作成してください。
1年生の場合は出身中学校が作成した推薦証明書を参考に作成してください。
- (4) ①願書 ②推薦調書 ③推薦証明書(1年生のみ) ④家計の収入状況を示す書類
①が上になるように順に重ね、左端上部1カ所をホチキス止めして、締切日までに提出してください。

平成23年4月28日(必着)で 横浜市教育委員会事務局高校教育課へ提出
住所 〒231-0017 横浜市中区港町1-1 TEL045-671-3272

- ※ 申請者が直接提出するのではなく、必ず高等学校で取りまとめて提出してください。
- ※ 選考結果は6月下旬頃に各高等学校へ通知します。また「横浜市奨学金」は各高等学校を通じて本人に支給します。

2 推薦調書の作成上の注意

- (1) 学業成績について
応募の資格は、前年度の全履修科目の評定平均が4.00以上です。
御記入いただく教科は次のとおりです。
 - ・1年生の場合は、中学校第3学年の全履修科目
 - ・2年生の場合は、高校第1学年の全履修科目
 - ・3年生以上の場合は、前年と前々年の2カ年の全履修科目※ なお、1年生の場合は、出身中学校の成績証明書、2年生以上の場合は、学校所定の成績証明書の添付をもって記載に代えることができます。

- (2) 5段階で成績を記入してください。
5段階によらない場合は、次により換算してください。

① 10段階評価の場合

評 価	換算後の評価	評 価	換算後の評価
10	5.0	5	2.5
9	4.5	4	2.0
8	4.0	3	1.5
7	3.5	2	1.0
6	3.0	1	1.0

② その他の評価の場合

評 価	換算後の評価
優またはA	4.5
良またはB	3.5
可またはC	3.0
不可またはD	2.0

- (3) 全履修科目の平均を学業成績の最下部の「教科評定の平均」欄に記入してください。
※ 「成績証明書」を添付した場合も平均は記入してください。
※ 小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位まで記入してください。
- (4) 1年生の推薦所見欄は、中学校からの推薦証明書の内容を確認した上で「推薦証明書のとおり奨学生として適当と認め、推薦します。」と記入していただければ結構です。

《推薦調書記入例》

〈様式②〉

第2号様式（第2条第1項）

(高校) 奨学生推薦調書			
氏名	横浜 一朗	在学 学校名等	(課程・学年) 〇〇 高等学校 全日制 1年
学業成績 (5段階で記入のこと)		推薦所見	
学年 ↓ 教科名	中学 3年		学業に関する所見 人物に関する所見 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 1年生の場合の推薦所見については、 <u>中学校作成の推薦証明書を確認していた</u> <u>だき、「推薦証明書のとおり奨学生とし</u> <u>て適当と認め、推薦します。」</u> と、記入いただければ結構です。 </div>
国語	4		
社会	4		
数学	5		
理科	3		
音楽	4		
美術	5		
保健体育	5		
技術・家庭	5		
英語	4		
収入状況に関する所見		2カ年の場合は、年ごとではなく、全履修科目の平均としてください。 少数点以下第3位を四捨五入（必ず記入すること。）	
教科評定 平均	4.33		
上記の者は、横浜市奨学条例第2条に該当するものと認め、推薦します。 平成 23 年 4 月 〇〇 日 (あて先) 横浜市教育委員会教育長			
		学校名 学校長名	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">公印の押印をお願いします。</div> <div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px; display: inline-block; margin-left: 20px; vertical-align: middle;">公印</div>
		部 署： 連 帯 番 号： 住 所： 先 担 当 者 名： 電 話 番 号：	

その他

- ・1年生の場合、中学校で作成する推薦証明書などが、封入されている場合がありますが、高等学校で開封し、奨学生として推薦する事ができるかどうか必ず確認したうえで、推薦調書を作成してください。
- ・連絡先については、不足書類等があった場合にこちらから連絡をさせていただく番号になりますので、必ず担当者の名前と連絡先を記入してください。

（高校） 奨 学 生 願 書											
本人	フリガナ 氏名	-----			性別	※男・女	生年月日 等	年 月 日 (歳)			
	現住所	〒									
	在学 学校名等	(課程・学年) 高等学校 制 年					(転)入学	年 月			
保護者	氏名	年齢		歳	本人との続柄		職業	※有・無			
	現住所	〒					連絡先 (自宅TEL)				
生計を同じくする家族	本人との続柄	氏名	年齢	収入の状況		在学の状況					
				収入のある場合は○	収入の種類	在学している場合は○	学校設置者※	在学 学校名	在学している学校 (注)5		
	本人				※給与・事業・公的扶助・年金・その他()		公立 私立				
						※給与・事業・公的扶助・年金・その他()		公立 私立			
						※給与・事業・公的扶助・年金・その他()		公立 私立			
						※給与・事業・公的扶助・年金・その他()		公立 私立			
						※給与・事業・公的扶助・年金・その他()		公立 私立			
						※給与・事業・公的扶助・年金・その他()		公立 私立			
奨学金を必要とする理由 (詳しく書いてください)		----- ----- ----- -----									
横浜市奨学生として奨学金の支給を受けたいので願い出ます。 年 月 日 (あて先) 横浜市教育委員会教育長 本人 保護者											

- (注意) 1 ※印の欄は、該当するものを「○」で囲んでください。
 2 生計を同じくする家族の中で別居者がいる場合は、「本人との続柄」欄に続柄を記入し、「○」で囲んでください。
 3 収入がある全員の書類（一人で複数ある場合は、複数の書類）が必要となります。
 4 障害者がいる世帯などの場合、右下（枠外）に記入→「特別控除あり」（赤字）
 5 「在学の状況」の「在学している学校」欄には、①小学校、②中学校、③高等学校、④高等専門学校、⑤専修学校（高等課程）、⑥専修学校（専門課程）、⑦短期大学、⑧大学、⑨大学院を記入してください。（①～⑨の番号での記入でも構いません。）
 なお、科目履修生・聴講生・研究生、専修学校（一般課程）、各種学校（予備校・職業訓練校・農業大学校等）は除きます。

第2号様式（第2条第1項）

(高校) 奨 学 生 推 薦 調 書													
氏名		在 学 学校名等	(課程・学年) 高等学校 制 年										
学 業 成 績 (5段階で記入のこと)		推 薦 所 見											
学年 教科名	年	年	学業に関する所見										
			人物に関する所見										
			収入状況に関する所見										
教科評定 平均													
<p>上記の者は、横浜市奨学条例第2条に該当するものと認め、推薦します。</p> <p style="text-align: center;">年 月 日</p> <p>(あて先)</p> <p style="text-align: center;">横浜市教育委員会教育長</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: right;"> <p>学校名</p> <p>学校長名</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;"> <p>公 印</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30px;">部</td> <td>署：</td> </tr> <tr> <td>連</td> <td>〒 番 号：</td> </tr> <tr> <td>絡</td> <td>住 所：</td> </tr> <tr> <td>先</td> <td>担当者名：</td> </tr> <tr> <td></td> <td>電話番号：</td> </tr> </table> </div>				部	署：	連	〒 番 号：	絡	住 所：	先	担当者名：		電話番号：
部	署：												
連	〒 番 号：												
絡	住 所：												
先	担当者名：												
	電話番号：												

(注意) 1 学業成績

- (1) 高等学校1年の場合は、中学3年の全履修科目を5段階で記入してください。
 - (2) 高等学校2年の場合は高等学校1年の全履修科目を、3年以上の場合は出願時に在学する学年の前2年の全履修科目を記入してください。
- 2 学業成績は、学校所定の成績証明書の添付をもって記載に代えることができます。

※ 横浜市奨学条例〈抜粋〉(奨学生の資格) 第2条 この条例により奨学金を支給する生徒は、保護者が横浜市内に居住する者で高等学校に在学し、品行方正、学業成績優秀で学資の支弁が困難と認められるものでなければならない。

奨学生推薦証明書	
推薦生徒 氏名等	(課程・学年) 高等学校制年 氏名
学業に関する 所見	
人物に関する 所見	
収入状況に 関する所見	
将来に対する 総合的所見	
<p>上記のとおり横浜市奨学条例第2条に該当するものと認め、証明します。</p> <p style="text-align: center;">年 月 日</p> <p>(あて先) 横浜市教育委員会教育長</p> <p style="text-align: right;">中学校名 学校長名</p> <div style="text-align: right; border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin-left: auto;">公 印</div>	

※ 横浜市奨学条例〈抜粋〉（奨学生の資格）第2条 この条例により奨学金を支給する生徒は、保護者が横浜市内に居住する者で高等学校に在学し、品行方正、学業成績優秀で学資の支弁が困難と認められるものでなければならない。

(横浜市高等学校奨学生の出願手続きの注意事項：本人用)

1 横浜市奨学生出願手続きの流れ

(1) 応募資格を確認してください。

- 応募資格
- ①保護者の住所が横浜市にある方
 - ②高等学校に在籍し、品行方正な方
 - ③学業成績が前年度の全履修科目の評定平均値が5段階評価で4.00以上の方
※ 小数点以下第3位を四捨五入し、小数点以下第2位までの平均値とします。
 - ④家計の収入状況が年間800万円以下程度で学資の支払いが困難な方

(2) 応募資格を全て満たしている場合には、次の書類をそろえて、高等学校へ提出してください。

- ① 願書〈様式①〉
- ② 家計の収入状況を示すすべての書類
- ③ 推薦証明書〈様式③〉1年生のみ(出身中学校で作成)
※ 推薦調書〈様式②〉は高等学校で作成します。
※ 各高等学校から、横浜市教育委員会への書類の提出期限は、4月28日(必着)となっております。

2 願書作成上の注意

(1) 「生計を同じくする家族」氏名欄は、家族全員を記入してください。

単身赴任等で別居の場合も記入してください。その場合は「続柄」を○で囲んでください。

(2) 「収入の状況」について、収入がある場合のみ収入の種類に○をつけてください。

- ・収入の種類によって、提出書類が異なり、収入が複数の場合は、複数必要となります。
- ・2人以上の収入がある場合は、収入のある全員のものが必要となります。(パートやアルバイト収入も書類の提出が必要です。)
- ・4月からの就職等で給与の支払い実績がない場合には、雇用契約書等の給与金額のわかるものを提出してください。
- ・○をつけたすべての収入状況の証明書類を「願書」と同じ大きさ(A4判)の紙に金額等がわかるようにのり付けしてください。
※ 「願書」より大きい場合は、A4判サイズに折りたたんで添付してください。

(3) 特別控除について

次に該当する場合は、所得計算において控除がありますので、「奨学金を必要とする理由」欄に該当内容を詳しく記入してください。

また、願書の右下(枠外)に赤字で「特別控除あり」と記入してください。

- ① 障害者がいる世帯 → 障害者手帳の写しを添付してください。
- ② 申し込み時点で6カ月以上の長期療養者のいる世帯 → 療養のため経常的に特別な支出をしている場合、金額のわかるものを添付してください。
- ③ 主たる家計支持者が別居している世帯 → 別居のため特別に支出している場合、その金額のわかるものを添付してください。

《奨学生願書記入例》

〈様式①〉

第1号様式（第2条第1項）

(高校) 奨 学 生 願 書							
本人	フリガナ 氏名	ヨコハマ 一郎 横浜 一郎	性別	※ <input checked="" type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女	生年月日 等	○年 ○月 △日 (△△歳)	
	現住所	〒231-0017 横浜市中区港町1-1 教育第一ハイツ202					
	在学 学校名等	○○ 高等学校 全日 制 1年			(課程・学年)	(転)入学	○年○月
保護者	氏名	横浜奈美	年齢	○歳	本人との続柄	母	職業
	現住所	〒231-0017 横浜市中区港町1-1 教育第二ハイツ103			連絡先 (自宅TEL)	※ <input checked="" type="radio"/> 有・無 (△△△) ××××	
生計を同じくする家族	本人との続柄	氏名	年齢	収入の状況		在学の状況	
				収入のある場合は○	収入の種類	在学している場合は○	在学している学校(注)5
	本人	横浜 一郎	△△		※給与・事業・公的扶助・年金・その他()	<input type="radio"/>	公立 <input checked="" type="radio"/> 私立 ○○高校
	母	横浜 奈美	×△	○	※給与・事業・公的扶助・年金・その他(児童扶養手当)	<input type="radio"/>	公立 私立
	弟	横浜 翔	◇		※給与・事業・公的扶助・年金・その他()	<input type="radio"/>	公立 <input checked="" type="radio"/> 私立 横浜市立△中学校
	祖母	横浜 はな	××	○	※給与・事業・公的扶助(年金)・その他()	<input type="radio"/>	公立 私立
					○を付けたものすべて、証明書の添付が必要です。	<input type="radio"/>	公立 私立
					※給与・事業・公的扶助・年金・その他()	<input type="radio"/>	公立 私立
奨学金を必要とする理由 (詳しく書いてください。)		詳しく御記入ください。					
横浜市奨学生として奨学金の支給を受けたいので願ひ出ます。 平成23年 4月××日 (あて先) 横浜市教育委員会教育長							
				本人	横浜 一郎		
				保護者	横浜 奈美		

- (注意) 1 ※印の欄は、該当するものを「○」で囲んでください。
 2 生計を同じくする家族の中で別居者がいる場合は、「本人との続柄」欄に続柄を記入し、「○」で囲んでください。
 3 収入がある全員の種類(一人で複数ある場合は、複数の書類)が必要となります。
 4 障害者がある世帯などの場合、右下(枠外)に記入→「特別控除あり」(赤字)
 5 「在学の状況」の「在学している学校」欄には、①小学校、②中学校、③高等学校、④高等専門学校、⑤専修学校(高等課程)、⑥専修学校(専門課程)、⑦短期大学、⑧大学、⑨大学院を記入してください。(①～⑨の番号での記入でも構いません。)
 なお、科目履修生・聴講生・研究生、専修学校(一般課程)、各種学校(予備校・職業訓練校・農業大学校等)は除きます。